

平島における魚類相調査で確認された トカラ列島記録のハタ科魚類 4 種

中村潤平¹・本村浩之²

¹ 〒 892-0814 鹿児島市港新町 3-1 いおワールドかごしま水族館

² 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

■ はじめに

トカラ列島は屋久島と奄美大島の間に位置し、7つの有人島（口之島、中之島、諏訪之瀬島、平島、悪石島、小宝島、および宝島）と5つの無人島（臥蛇島、小臥蛇島、小島、上ノ根島、および横当島）から構成され、トカラ列島が属する鹿児島郡十島村の行政区域の長さは162 kmにおよぶ（長嶋ほか, 2009）。その中間に位置する平島（Fig. 1）は面積2.08 km²、周囲4.5 km、最高高度243 mの古期火山列島のひとつであり、人口はおよそ70人である（長嶋ほか, 2009；加藤, 2013；鹿児島県, 2020）。本研究以前の平島における魚類の報告は多くないものの、平島産の標本に基づきアオスミヤキ *Epinnula pacifica* Ho, Motomura, Hata and Jiang, 2017 が新種記載され、2016年に鹿児島大学総合研究博物館により行われた平島の魚類相調査では日本初記録のハナサキタナバタメギス *Pseudoplesiops immaculatus* Gill and Edwards, 2002 や世界3個体目のヒゲモジャオコゼ *Cocotropus possi* Imamura and Shinohara, 2008 が採集され報告された（Ho et al., 2017；Koeda et al., 2017；小枝・本村, 2018；Motomura, 2020）。

第一著者は2018年5月から2020年3月にかけて平島における魚類相調査を島民の方々のご協

力のもとで行った。本調査の過程で採集された魚類の一部はすでに報告されており〔ネコザメ *Heterodontus japonicus* Miklouho-Maclay and Macleay, 1884：中村・本村, 2019；カガミダイ *Zenopsis nebulosa* (Temminck and Schlegel, 1845)：伊藤・本村, 2019；ヒゲニジギンポ *Meiacanthus grammistes* (Valenciennes, 1836)：森下・本村, 2019〕、ここでは本調査で得られた魚類のうち、トカラ列島から初めて記録された4種のハタ科魚類を報告する。

■ 材料と方法

標本の作製、登録、撮影、および固定方法は本村（2009）に準拠した。学名と帰族はParenti and Randall (2020)にしたがい、標準体長は体長またはSLと表記した。本報告に用いた標本（全て鹿児島県鹿児島郡十島村平島近海産）と生鮮時の写真は鹿児島大学総合研究博物館（KAUM）に所蔵されており、詳細な採集データはリスト中の「観察標本」の項目を参照。

■ 結果と考察

キハッソク族 Diploprionini

Aulacocephalus temminckii Bleeker, 1855

ルリハタ (Fig. 2A)

観察標本 KAUM-I. 136748, 体長195.3 mm, 平島南之浜港沖 (29°40'N, 129°31'E), 水深180 m, 2019年11月1日, 釣り, 白坂健人。

同定の根拠 平島から得られた1標本は、背鰭鰭条数がIX, 12, 臀鰭棘数がIII, 前鰓蓋骨後縁が鋸歯状, 涙骨の表面に迷路状骨質隆起が発達する, たたんだ腹鰭後端が肛門に達しない, およ

Nakamura, J. and H. Motomura. 2020. First Tokara records of four species of the family Serranidae from the Taira-jima Island, Kagoshima, Japan. *Nature of Kagoshima* 46: 503-507.

✉ HM: the Kagoshima University Museum, 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp).

Published online: 3 April 2020

http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_046/046-089.pdf

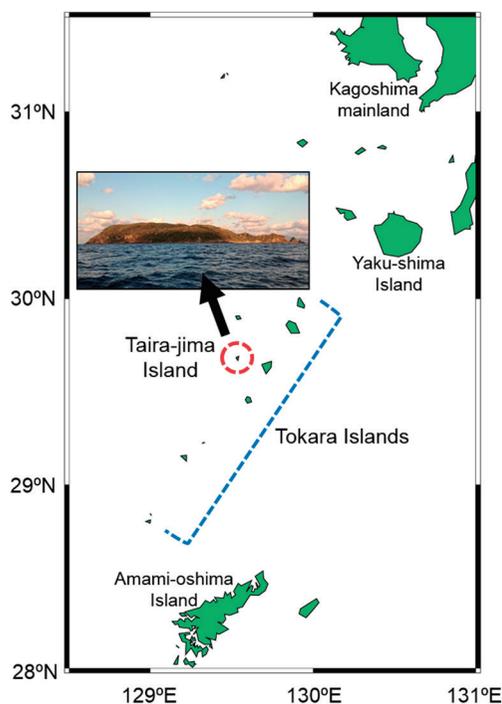


Fig. 1. Location map and overall photograph of Taira-jima Island, Tokara Islands, Kagoshima, Japan.

び体の背縁に沿って黄色帯があることなどの特徴により Randall et al. (1971) や瀬能 (2013) が示した *Aulacocephalus temminckii* と一致したため本種に同定された。

分布 ルリハタはインド・西太平洋とマーシャル諸島に分布し、日本国内からは伊豆諸島、小笠原諸島、相模湾から日向灘にかけての太平洋沿岸、長崎県、瀬戸内海、口永良部島、および奄美大島から記録されていたが (瀬能, 2013; Iwatsuki et al., 2017; 木村ほか, 2017; Nakae et al., 2018), 本研究によって新たにトカラ列島平島おける生息が確認された。

ハタ族 *Epinephelini*

Aethaloperca rogae (Forsskål, 1775)

クロハタ (Fig. 2B)

観察標本 KAUM-I. 117178, 体長 363.0 mm, 平島沖, 釣り, 2018年6月, 日高良一。

同定の根拠 平島から得られた1標本は、背

鰭鰭条数が IX, 17, 体高が高く、強く側偏する、胸鰭上方部の鰭条が最長、尾鰭が截形、体色が黒色、および両顎周辺と背鰭・臀鰭の棘部が濃い橙色を呈することなどの特徴により Randall and Heemstra (1991) や瀬能 (2013) が示した *Aethaloperca rogae* と一致したため本種に同定された。

分布 クロハタはインド・太平洋に広く分布し、日本国内からは小笠原諸島、三重県、和歌山県、高知県柏島、宇治群島、大隅諸島、奄美大島、沖縄諸島、および八重山諸島から記録されていたが (藤山, 2004; 瀬能, 2013; Motomura et al., 2016; 鎚木, 2016; Motomura and Harazaki, 2017; 木村ほか, 2017; Nakae et al., 2018), 本研究によって新たにトカラ列島平島おける生息が確認された。

Epinephelus macrospilos (Bleeker, 1855)

キビレハタ (Fig. 2C)

観察標本 3個体 (体長 168.7–305.8 mm) : KAUM-I. 130498, 体長 305.8 mm, 平島鷯崎 (29°41'43"N, 129°31'44"E), 釣り, 水深 2 m, 2019年6月1日, 中村潤平; KAUM-I. 130520, 体長 209.1 mm, 平島西岸 (29°41'00"N, 129°31'36"E), 釣り, 水深 1 m, 2019年5月23日, 森下悟至; KAUM-I. 132812, 体長 168.7 mm, 平島南之浜港 (29°40'42"N, 129°31'50"E), 釣り, 2019年8月31日, 谷川 遼。

同定の根拠 平島から得られた3標本は、背鰭鰭条数が XI, 16–17, 尾鰭軟条数が 8, 尾鰭が円形、背側の頭部輪郭が凸状、頭部、体側、および各鰭 (胸鰭は基底部のみ) に褐色斑がある、体背縁に大きな黒斑がない、および臀鰭外縁が黒くないことなどの特徴により Randall and Heemstra (1991), 瀬能 (2013), および阪本ほか (2018) が示した *Epinephelus macrospilos* と一致したため本種に同定された。

分布 キビレハタはインド・太平洋に広く分布し、日本国内からは、小笠原諸島、宮崎県日南市、奄美群島、および沖縄諸島から記録されてい

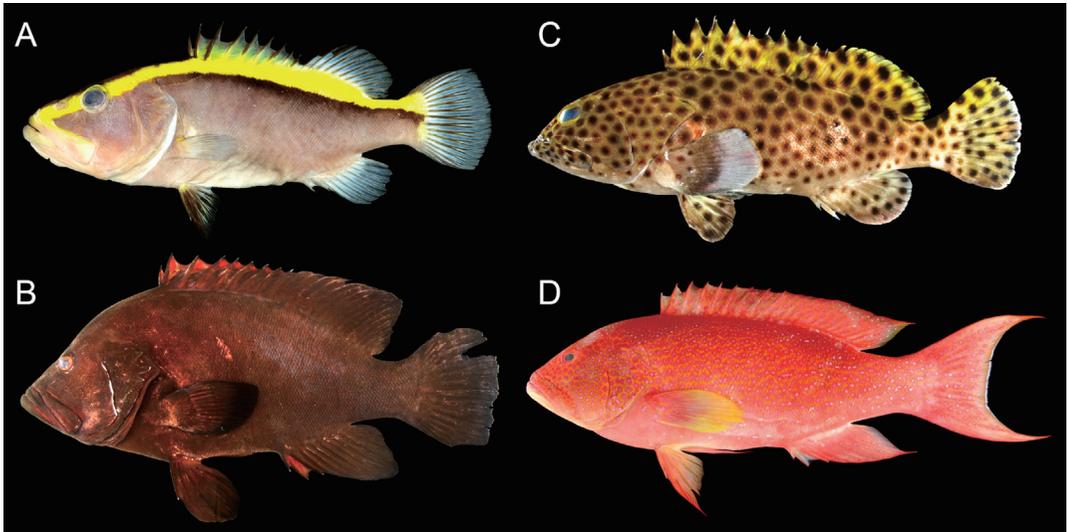


Fig. 2. Serranid fishes of the Taira-jima Island, newly recorded from the Tokara Islands, Kagoshima, Japan. A: *Aulacocephalus temminckii*, KAUM-I. 136748, 195.3 mm SL; B: *Aethaloperca rogaea*, KAUM-I. 117178, 363.0 mm SL; C: *Epinephelus macrospilos*, KAUM-I. 130498, 305.8 mm SL; D: *Variola albimarginata*, KAUM-I. 141412, 314.8 mm SL.

たが（瀬能, 2013；桜井, 2014, 2018, 2019；Nakae et al., 2018；阪本ほか, 2018；Motomura and Uehara, 2020），本研究よって新たにトカラ列島平島おける生息が確認された。

Variola albimarginata Baissac, 1953

オジロバラハタ（Fig. 2D）

観察標本 3個体（体長 116.6–314.8 mm）：KAUM-I. 129145, 体長 116.6 mm, 平島沖（29°41'N, 129°32'E）, 釣り, 水深 40 m, 2019年 5月 25日, 中村潤平；KAUM-I. 141412, 体長 314.8 mm, KAUM-I. 141413, 体長 310.8 mm, 平島沖西方（29°41'47"N, 129°31'22"E）, 水深 40–80 m, 2020年 3月 12日, 釣り, 中村潤平。

同定の根拠 平島から得られた標本は, 背鰭棘数が9, 背鰭と臀鰭の軟条部後端が伸長する, 尾鰭が三日月形, および尾鰭後縁が白色ことなどの特徴により Randall and Heemstra (1991) や瀬能 (2013) が示した *Variola albimarginata* と一致したため本種に同定された。

分布 オジロバラハタはインド・西太平洋とマーシャル諸島・サモア諸島に分布し, 日本国内からは, 小笠原諸島, 和歌山県, 愛媛県深浦, 日

向灘, 宇治群島, 大隅諸島, 奄美群島, および沖縄諸島以南の琉球列島から記録されていたが (Motomura et al., 2010, 2016；瀬能, 2013；池田・中坊, 2015；Koeda et al., 2016；鎗木, 2016；Motomura and Harazaki, 2017；Iwatsuki et al., 2017；Nakae et al., 2018；桜井, 2018, 2019；Motomura and Uehara, 2020），本研究よって新たにトカラ列島平島おける生息が確認された。

平島から得られたハタ科魚類4種（ルリハタ, クロハタ, キビレハタ, およびオジロバラハタ）のこれまでに知られていた分布記録は上述の各種の「分布」の項の通りであり, 4種はトカラ列島の魚類相を報告した Kamohara (1954), 蒲原 (1955), 中村 (1970), 四宮・島田 (1980), 坂井ほか (2005, 2009), および Motomura (2020) においても記録されていないため, 同列島からの初めての記録となる。

なお, 平島における魚類相調査では本報告の4種やこれまでの報告されていたネコザメ (中村・本村, 2019), カガミダイ (伊藤・本村, 2019), およびヒゲニジギンポ (森下・本村, 2019) の他にも多くの未記録種が得られているため, それらは順次報告を行っていく予定である。

■ 謝辞

本稿執筆に際し、秀海丸の白坂健斗氏と用澤満男氏、明姫丸の日高良一氏、平島寮の今井信之氏・今井睦美氏と寮生をはじめとする平島の島民のみならず、鹿児島大学大学院水産学研究所の森下悟至氏、および同大学水産学部の谷川 遼氏、山下薫大氏、八木倫弥氏、金井耀大氏、山口裕樹氏、柏原貴大氏には魚類の採集にご協力いただいた。原口百合子氏をはじめとする鹿児島大学総合研究博物館のボランティアのみならずと同博物館魚類分類学研究室のみならずには標本の作成・登録作業にご協力いただいた。これらの方々に謹んで感謝の意を表す。本研究は鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた。本研究の一部は鹿児島県自然保全協会の研究助成、JSPS 科研費(19770067, 23580259, 24370041, 26241027, 26450265), JSPS 研究拠点形成事業－B アジア・アフリカ学術基盤形成型、国立科学博物館「日本の生物多様性ホットスポットの構造に関する研究プロジェクト」、文部科学省特別経費「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備」、および鹿児島大学重点領域研究環境(生物多様性・島嶼プロジェクト)学長裁量経費の援助を受けた。

■ 引用文献

- 藤山萬太. 2004. 私本 奄美の釣魚. 藤山萬太, 奄美. 179 pp.
- Ho, H.-C., Motomura, H., Hata, H. and Jiang, W.-C. 2017. Review of the fish genus *Epinnula* Poey (Perciformes: Gempylidae), with description of new species from the Pacific Ocean. *Zootaxa*, 4363: 393–408.
- 池田博美・中坊徹次. 2015. 南日本太平洋沿岸の魚類. 東海大学出版部, 秦野. 597 pp.
- 伊藤大介・本村浩之. 2019. トカラ列島平島から得られた琉球列島近海におけるカガミダイの確かな記録. *Nature of Kagoshima*, 46: 203–206.
- Iwatsuki, Y., Nagino, H., Tanaka, F., Wada, H., Tanahara, K., Wada, M., Tanaka, H., Hidaka, K. and Kimura, S. 2017. Annotated checklist of marine and freshwater fishes in the Hyuga nada area, southwestern Japan. *Bulletin of the Graduate School of Bioresources, Mie University*, 43: 27–55.
- 鍋木紘一. 2016. 種子島の釣魚図鑑. たましだ舎, 西之表. 157 pp.
- 鹿児島県. 2020. 十島(としま)の概要: http://www.pref.kagoshima.jp/ac07/pr/shima/gaiyo/toshima/toshima_top.html (参照: 2020年3月31日).
- Kamohara, T. 1954. A list of fishes from the Tokara Islands, Kagoshima Prefecture, Japan. *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory*, 3 (3): 265–299.
- 蒲原稔治. 1955. トカラの魚. *高知大学学術研究報告*, 4 (8): 1–11.
- 加藤庸二. 2013. 原色 日本島図鑑 改訂第2版. 新星出版社, 東京. 383 pp.
- 木村祐貴・日比野友亮・三木涼平・峯苦 健・小枝圭太. 2017. 緑の火山 口永良部島の魚類. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 200 pp.
- Koeda, K., Hibino, Y., Yoshida, T., Kimura, Y., Miki, R., Kunishima, T., Sasaki, D., Furukawa, T., Sakurai, M., Eguchi, K., Suzuki, H., Inaba, T., Uejo, T., Tanaka, S., Fujisawa, M., Wada, H. and Uchiyama, T. 2016. Annotated checklist of fishes of Yonaguni-jima island, the westernmost island in Japan. *The Kagoshima University Museum, Kagoshima*. 119 pp.
- 小枝圭太・本村浩之. 2018. トカラ列島平島から採集されたイボオコゼ科の稀種ヒゲモジャオコゼ: 3 個体目の記録, 北限記録, および生鮮時の色彩の初確認. *魚類学雑誌*, 65: 91–95.
- Koeda, K., Yoshida, T. and Motomura, H. 2017. First Japanese and northernmost distributional record of *Pseudopleksiops immaculatus* (Perciformes: Pseudochromidae: Pseudopleksiopinae) from the Tokara Islands. *Biogeography*, 19: 55–60.
- 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 70 pp. (<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/dl.html>)
- Motomura, H. 2020. Review of the ichthyofaunal studies in the Tokara Islands, southern Japan. Pp. 153–163. In: Ohtsuka, Y., Terada, R. and Nishimura, S. (eds.), *The Tokara Islands: Culture, Society, Industry and Nature*. Hokuto Shobo Publishing, Kyoto.
- Motomura, H., Habano, A., Arita, Y., Matsuoka, M., Furuta, K., Koeda, K., Yoshida, T., Hibino, Y., Jeong, B., Tashiro, S., Hata, H., Fukui, Y., Eguchi, K., Inaba, T., Uejo, T., Yoshiura, A., Ando, Y., Haraguchi, Y., Senou, H. and Kuriwa, K. 2016. The ichthyofauna of the Uji Islands, East China Sea: 148 new records of fishes with notes on biogeographical implications. *Memoirs of Faculty of Fisheries Kagoshima University*, 64: 10–34.
- Motomura, H. and Harazaki, S. 2017. Annotated checklist of marine and freshwater fishes of Yaku-shima island in the Osumi Islands, Kagoshima, southern Japan, with 129 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 9: 1–18.
- Motomura, H., Kuriwa, K., Katayama, E., Senou, H., Ogihara, G., Meguro, M., Matsunuma, M., Takata, Y., Yoshida, T., Yamashita, M., Kimura, S., Endo, H., Murase, A., Iwatsuki, Y., Sakurai, Y., Harazaki, S., Hidaka, K., Izumi, H. and Matsuura, K. 2010. Annotated checklist of marine and estuarine fishes of Yaku-shima Island, Kagoshima, southern Japan. Pp. 65–248. In: Motomura H. and Matsuura, K. (eds.), *Fishes of Yaku-shima island – A World Heritage island in the Osumi Group, Kagoshima Prefecture, southern Japan*. National Museum of Nature and Science, Tokyo.

- Motomura, H. and Uehara, K. 2020. An annotated checklist of marine and freshwater fishes of Okinoerabu Island in the Amami Islands, Kagoshima, southern Japan, with 361 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 12: 1–125.
- 森下悟至・本村浩之. 2019. 平島から得られた標本に基づくトカラ列島初記録のヒゲニジギンボ. *Nature of Kagoshima*, 45: 381–384.
- 長嶋俊介・福澄孝博・木下紀正・升屋正人. 2009. 日本一長い村トカラ 輝ける海道の島々. 梓書院, 福岡. 267 pp.
- Nakae, M., Motomura, H., Hagiwara, K., Senou, H., Koeda, K., Yoshida, T., Tashiro, S., Jeong, B., Hata, H., Fukui, Y., Fujiwara, K., Yamakawa, T., Aizawa, M., Shinohara, G. and Matsuura, K. 2018. An annotated checklist of fishes of Amami-oshima Island, the Ryukyu Islands, Japan. *Memoirs of the National Museum of Nature and Science*, Tokyo, 52: 205–361.
- 中村潤平・本村浩之. 2019. トカラ列島平島から得られたネコザメ. *Nature of Kagoshima*, 45: 373–375.
- 中村伸一. 1970. トカラ列島・中之島の自然. 十島村立中之島中学校, 十島村. 188 pp.
- Parenti, P. and Randall, J. E. 2020. An annotated checklist of the fishes of the family Serranidae of the world with description of two new related families of fishes. *Fish Taxa*, 15: 1–170.
- Randall, J. E., Aida, K., Hibiya, T., Matsuura, N., Kamiya, H. and Hashimoto, Y. 1971. Grammistin, the skin toxin of soapfishes and its significance in the classification of the Grammistidae. *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory*, 19: 157–190.
- Randall, J. E. and Heemstra, P. C. 1991. Revision of Indo-Pacific groupers (Perciformes: Serranidae: Epinephelinae), with descriptions of five new species. *Indo-Pacific Fishes*, 20: 1–322.
- 坂井陽一・門田 立・木寺哲明・相良恒太郎・柴田淳也・清水則雄・武山智博・藤田 治・橋本博明・具島健二. 2005. トカラ列島北部に位置する口之島, 中之島の浅海魚類相. *広島大学大学院生物圏科学研究科紀要*, 44: 1–14.
- 坂井陽一・門田 立・清水則雄・坪井美由紀・山口修平・中口和光・郷 秋雄・増井義也・橋本博明・具島健二. 2009. トカラ列島口之島, 中之島, 平島, 小宝島における浅海魚類相—2000年–2007年の潜水センサス調査から—. *広島大学大学院生物圏科学研究科紀要*, 48: 19–35.
- 阪本竜也・三木涼平・村瀬敦宣. 2018. 宮崎県日南市で採集されたキビレハタ *Epinephelus macrospilos* の北限記録. *日本生物地理学会会報*, 73: 215–220.
- 桜井 雄. 2014. キビレハタ. P. 151. 本村浩之・松浦啓一(編), 奄美群島最南端の島—与論島の魚類. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島, 国立科学博物館, つくば.
- 桜井 雄. 2018. ハタ科 Serranidae (ハタ亜科 Epinephelinae). Pp. 81–92. 本村浩之・萩原清司・瀬能 宏・中江雅典(編), 奄美群島の魚類. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島, 横須賀市自然・人文博物館, 横須賀, 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原, 国立科学博物館, つくば.
- 桜井 雄. 2019. ハタ科 Serranidae (ハタ亜科 Epinephelinae). Pp. 84–95. 本村浩之・萩原清司・瀬能 宏・中江雅典(編), 奄美群島の魚類図鑑. 南日本新聞開発センター, 鹿児島.
- 瀬能 宏. 2013. ハタ科. Pp. 752–802, 1960–1971. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
- 四宮明彦・島田和彦. 1980. トカラ列島周辺海域のサンゴ礁魚類相. *研究速報 鹿児島大学工学部*, 29–34.